



# 朝五中だより

平成30年2月1日発行  
朝霞市立朝霞第五中学校

〒351-0031 朝霞市宮戸1580 HP <http://www.asakadai5chu.city-asaka.ed.jp>

TEL 048(471)2236 FAX 048(476)1328 E-mail [5chuu@asaka-c.ed.jp](mailto:5chuu@asaka-c.ed.jp)

## 開花を楽しみに

校長 土橋 徹嘉

2月4日は立春、暦の上では春となりますが、先月には4年ぶりの大雪で暫く銀世界が広がり、また、その後も大寒波にみまわれるなど、まだまだ厳しい寒さが続いております。そのようななか梅の木につぼみを見つけました。植物も着実に春の訪れの準備を進めているのだなと感じたひとときでした。これから各地で梅の便りが聞かれるものと楽しみです。



埼玉県の名所といえば、朝霞市と交流事業を展開している越生町の梅林が有名です。関東三大梅林の一つで2ヘクタールある園内には白梅、紅梅のほか、越生野梅などの古木二百本の合計約千本があり、梅林の周辺を含めると二万本の梅が咲きほこるようです。

梅をはじめとして花には早咲きと遅咲きがあり、どちらかといえば早咲きの方が話題になります。人間も早生と晩生があり、やるべき対象によっては早咲きになったり遅咲きになったりすることがあります。こちらも早咲きの人にはもてはやされたりしますが、時間をかけて実力をつけていき大輪の花を咲かせるタイプも好まれます。老子が出典といわれている「大器晩成」という言葉がありますが、偉大な人物はときとして大成するまでに長い年月がかかるものです。だから、あきらめずに努力を惜しまないようにといわれたりもします。一方で、いつまで待っていれば花を咲かせることができるのか、咲かせた花をいつまでも維持できるのかという難しい問題もあります。いずれにしても、早咲き、遅咲きをそれぞれの個性ととらえ、極度の悲観、過度の楽観に陥らないよう着実に誠実に目の前のことに取り組んでいくことが大事であると思います。

1年生は先月28日からのスキー林間学校で多くの成果を得ることができました。2年生は今月1日より3年生から鳴子踊りの引き継ぎが始まります。3年生は19日から県公立高校への出願が始まるなど、来月の入試に向けていよいよ総仕上げの時期となります。生徒には今月も確かな歩みを重ねて、素敵な花を咲かせて欲しいと願っています。

先月下旬より、インフルエンザの流行警報が出ています。手洗い、うがい、マスク着用などの感染予防を継続して指導していきたいと考えております。ご家庭でもご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。